

- 問1 山梨県は東京都に隣接しており、中央自動車道やJR中央本線などの主要な交通網が整備されていますが、新幹線の状況については他の周辺自治体と異なる特徴があります。山梨県の新幹線に関する現在の状況と今後の計画について述べた文として、正しいものはどれですか。（2025年 愛媛県公立入試 類似）
1. 上越新幹線の開通によって、首都圏との移動時間が大幅に短縮された。
2. 東海道新幹線が県南部をわずかに通過しているが、駅は設置されていない。
3. 現在、県内に新幹線の路線や駅は存在しないが、リニア中央新幹線の駅が設置される計画が進んでいる。
4. 北陸新幹線の延伸ルートに含まれており、県庁所在地に新駅が建設中である。
- 問2 福井県鯖江市の眼鏡産業のように、かつて積雪が多く農作業ができない「農閑期」に、農家の「副業」として始まった地場産業が、都市部から離れた地域でも大きく発展した理由として、最も適切なものはどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）
1. 原料となる鉱物資源や燃料となる木材が、その地域付近で豊富に採れたため
2. 鉄道の開通により、大消費地である東京や大阪へ短時間で出荷できたため
3. 雪国の農閑期における安価な労働力を活用できたため
4. 海外から安価な製品が大量に輸入され、その加工技術が直接伝わったため
- 問3 岐阜県の白川郷で見られる「合掌造り」と呼ばれる伝統的な住居様式について、その屋根が非常に急な傾斜になっている主な理由として、地域の自然環境と産業の観点から説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2024年 長崎県公立入試 類似）
1. 周辺の森林資源を保護するため、少量の木材で高い天井を維持できる建築技術が求められたため
2. 台風による強風の被害を最小限に抑えるため、風の抵抗を受けにくい特殊な構造にする必要があったため
3. 夏に盆地特有の高湿多湿な気候となるため、風通しを良くして熱がこもらないようにするため
4. 冬の豪雪による雪の重みを逃がしやすくするとともに、屋根裏を養蚕の作業スペースとして活用するため
- 問4 日本の人口構成に関する地域的な特色について、その背景を説明した文として正しいものはどれですか。（2019年 大分県公立入試 類似）
1. 人口密度が高い地域ほど、医療施設が充実しているため、結果として高齢者が占める割合も全国で最も高くなる。
2. 都市部では、若年層の人口流入が多いため、全人口に占める高齢者の割合は地方部よりも低くなる傾向がある。
3. 製造業が盛んな愛知県などの地域では、定年退職者が他県から移住してくるため、高齢化が急速に進んでいる。
4. 山間部や地方部では、高度経済成長期以降に若者が都市部へ移動したことで、高齢者人口の割合が全国平均より低くなっている。
- 問5 農産物の収穫量の統計において、長野県が約19万8千トンで全国1位、次いで茨城県、群馬県が上位となっている農産物があります。特に長野県の高原地帯において、夏から秋にかけての涼しい気候を利用して盛んに生産されるこの農産物の名称として正しいものを選びなさい。（2022年 熊本県公立入試 類似）
1. ピーマン
2. レタス
3. キャベツ
4. たまねぎ
- 問6 愛知県瀬戸市は、鎌倉時代から続く伝統的な工芸品の産地として知られています。この地域で生産される、良質な粘土を原料とした「瀬戸焼」などの工芸品を総称して何と呼びますか。（2021年 奈良県公立入試 類似）
1. 陶磁器
2. 鉄器
3. 漆器
4. 織物
- 問7 川が山間部から平地に出る場所に、土砂が堆積して等高線が扇状に広がる地形が形成されることがあります。この地形における土地利用の記述として、地形の性質を踏まえた最も適切なものはどれですか。（2024年 長野県公立入試 類似）
1. 土砂が細かく湿気が多いため、古くから大規模な水田地帯として利用されてきた。
2. 川の最下流部に位置するため、砂や泥が堆積してきた水はけの悪い低地となっている。
3. 砂や礫が積もり水はけが良いため、古くから果樹園や桑畑として利用されてきた。
4. 標高が低く平坦なため、重化学工業の巨大な工場が立ち並び工業地域となった。
- 問8 日本海に面した上越市では、1月の降水量が400mmを超えるなど、夏よりも冬に降水量が多くなる「日本海側の気候」がみられます。冬にこのような気象状況が発生する理由を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）
1. 北西の季節風が日本海を渡る際に湿気を蓄え、山脈にぶつかって雪を降らせるため
2. 太平洋から湿った空気を運ぶ南東の季節風が、日本海側に大量の雨をもたらすため
3. 梅雨や台風の影響を強く受けることで、1月を中心に雨雲が発達しやすいため
4. 内陸部で冷やされた空気が海へ向かって吹き降り、地表付近の気温が急激に下がるため
- 問9 木曽川、長良川、揖斐川の下流に広がる濃尾平野の低湿地帯では、古くから河川の氾濫による水害を防ぐための工夫が行われてきました。集落や耕地の周囲を堤防で囲んだ、この地域特有の仕組みや集落を何と呼びますか。（2022年 秋田県公立入試 類似）
1. シラス台地
2. カルデラ
3. 輪中（わじゅう）
4. 扇状地（せんじょうち）
- 問10 富山県は、年間降水量が約2374mmと全国平均（約1662mm）を大きく上回り、周囲を標高の高い山々に囲まれています。このような自然条件が、電力消費の激しいアルミニウム工業の発展にどのようにつながったか、最も適切な説明を選びなさい。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 冬の積雪による低温環境を利用して、工場内の精密機械の冷却コストを大幅に削減できたため
2. 急峻な地形と豊富な雪解け水を利用した水力発電により、安価な電力が得られたため
3. 山間部でアルミニウムの原料となるボーキサイトが大量に採掘され、輸送コストが抑えられたため
4. 日本海沿岸の港を通じて、海外から安価な石炭を輸入し大規模な火力発電を行ったため
- 問11 岐阜県の白川郷や富山県の五箇山で見られる、厚い茅葺き屋根を急な角度で組み合わせた「合掌造り」と呼ばれる伝統的な民家は、この地域のどのような自然環境に対応するために作られましたか。最も適切な理由を選びなさい。（2017年 奈良県公立入試 類似）
1. 夏に発生する激しい上昇気流による雨が、屋根に溜まって腐食するのを防ぐため
2. 台風による強風の圧力を受け流し、屋根が吹き飛ばされるのを防ぐため
3. 火山灰が屋根に堆積して家が押しつぶされるのを防ぐため
4. 冬の積雪の重みによって家が倒壊するのを防ぎ、雪下ろしの負担を軽減するため
- 問12 日本の気候区分のうち、北西からの季節風の影響を受けて冬の降水量（降雪量）が多くなる日本海側の気候の特徴を表した雨温図の記述として、最も適当なものはどれですか。（2025年 徳島県公立入試 類似）
1. 夏にあたる6月から8月にかけて降水量のピークがあり、冬は乾燥して雨が少ない。
2. 12月から2月にかけての冬の時期に、月別の降水量が年間の中でも特に多くなる。
3. 年間を通じて降水量の変化が少なく、毎月の降水量がほぼ一定である。
4. 年中を通じて雨が少なく、どの月の降水量も100mm未満にとどまる。
- 問13 北陸地方に位置する石川県の県庁所在地であり、江戸時代には加賀藩の城下町として栄えた歴史を持ちます。現在も加賀友禅などの伝統工芸が盛んで、当時の面影を残す町並みが観光資源となっている都市はどこですか。（2017年 岐阜県公立入試 類似）
1. 金沢市
2. 新潟市
3. 富山市
4. 福井市